特別企画展

ヘルマン・ヘッセ昆虫展

～少年の日の思い出～

中学国語の教科書に掲載され続けている『少年の日の思い出』。この作品に登場するチョウ・ガについて、ヘッセの故郷ドイツや終焉の地スイスから取り寄せた標本やヘッセ手書きの水彩画、帯広・十勝の標本を紹介します。

2025 **9.6**[土]－**10.13**[月祝]

開館時間　9:00~17:00（入場は16:30まで）

会　　場　帯広百年記念館　特別展示室
休 館 日　月曜日（9/15・10/13は開館）、9/16・24
主　　催　帯広市教育委員会
協　　力　新部 公亮 氏（日本アンリ・ファーブル会）
　　帯広百年記念館 友の会・ボランティアの会

帯広百年記念館

080-0846 帯広市緑ヶ丘２番地
0155-24-5352　https://museum-obihiro.jp/occm/

特別企画展

ヘルマン・ヘッセ昆虫展

～少年の日の思い出～

ノーベル賞作家でもあるヘッセは、神々の美しき創造物であるチョウ類を生涯にわたって愛し続け、きらめきながら消えゆく生命の神秘を讃いあげた詩歌・散文作品の数々を残しました。特に、『クジャクヤママユ』（1911）の改稿『少年の日の思い出』(1931) は、中学国語の教科書に 75 年間以上も掲載され続けており、わが国で最も多くの人びとに読まれた海外文学作品です。

この昆虫展では、ヘッセの故郷ドイツや終焉の地スイスから取り寄せたチョウ・ガの貴重な標本や、ヘッセ自身が少年時代に観たものと同じ 19 世紀末の図鑑から取り出した銅版画のチョウ・ガ、ヘッセ手描きの水彩画を、帯広・十勝のチョウ・ガの標本とともに展示し、世界的文人の「自然美」への畏敬と感性とを具体的に表現します。

ヘルマン・ヘッセ 5 歳

晩年のヘルマン・ヘッセ

『少年の日の思い出』に登場するチョウとガ

モンタニョーラ・自宅の庭からの眺め

特別公開　ヘッセ直筆の水彩画「アンニョ湖」

関連事業

公開授業「みんなで国語の授業を受けてみませんか」
9月 14 日 (日)　14 時～15 時 30 分　（9/2~13 電話申込）

中学校時代の国語の授業をもう一度体験してみませんか。教材は『少年の日の思い出』です。

講師：今本 明 氏（元北海道子どもの本連絡会 運営委員長）

博物館講座「ものがたりの昆虫　12」
9月 20 日 (土)　14 時～15 時 30 分　（9/9~19 電話申込）

いろいろな物語に登場する昆虫。今回は『少年の日の思い出』や児童詩誌『サイロ』などに出てくる昆虫について紹介します。

体験教室「ちょうちょのキーホルダーを作ろう」
9月 15 日 (月祝)、23 日 (火祝) ①9時 30 分～12 時 ②13～15 時

プラバンにオリジナルの模様を描き、ガやチョウのキーホルダーを作ります。（随時受付、所要時間 15 分程度、費用 100 円、小学生以下保護者同伴）。

交通案内

十勝バス：春駒通 12 条下車徒歩 8 分
拓殖バス：緑ヶ丘 6 丁目下車徒歩 7 分
タクシー：帯広駅南口より約 5 分
徒　　歩：帯広駅南口より約20分

帯広百年記念館

080-0846 帯広市緑ヶ丘 2 番地
電話 0155-24-5352　HP　https://museum-obihiro.jp/occm/